

自治体目線で考える CEコマース事業者との 連携可能性

～KANTOで創り上げる、CEコマースのこれから～

※CEコマース：製品の稼働率を高めたり、利用期間や寿命を延ばすことを通じて資源循環に貢献するビジネス（例：リユース、シェアリング、リペア等）

2026年2月27日(金)

14:00-17:00 開場13:30

3×3Lab Future

東京都千代田区大手町 1-1-2
大手門タワー・ENEOSビル1階

「CEコマースを自治体がどのように活用していくか」といった観点から、サーキュラーエコノミーの専門家、意欲的な自治体、CEコマース事業者を招き、取組事例や登壇者の経験談を幅広く紹介します。特に自治体・CEコマース事業者それぞれが担うべき役割、CEコマースならではの連携時のポイントなどを議論します。

プログラム

- 14:00 開会挨拶
関東経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官 田中 政弘
- 14:05 基調講演
「CEコマースが地域にもたらす価値と可能性」
ハーチ株式会社 代表取締役 加藤 佑氏
- 14:45 「自治体におけるCEコマース活用のススメ
～地域で実現する資源循環～」
関東経済産業局 環境・資源循環経済課 係長 萩原 大揮
- 15:15 パネルディスカッション
「地域課題解決に向けた
CEコマース事業者との連携の方向性」
- 16:00 Meetup(ネットワーキング)
※現地参加者のみ

パネルディスカッション(ファシリテーター：ハーチ株式会社 代表取締役 加藤 佑氏)



ハーチ株式会社
代表取締役
加藤 佑氏



那須塩原市 環境戦略部
サーキュラーエコノミー課長
小野 治夫氏



横浜市 資源循環局 政策調整部
3R 推進課長
今村 貴美氏



株式会社クラス
代表取締役社長
久保 裕丈氏



関東経済産業局 資源エネルギー環境部
環境・資源循環経済課長
萩野 稔



お申し込みはこちら

<https://bit.ly/4jGjrvn>

・自治体・CEコマース事業者の皆さまが対象です
・QRコード、またはURLからお申し込みください
・現地参加人数が50名に達し次第、自動的にオンライン参加となります
・お申し込みは1回につき1名様迄となります
・(同一情報で複数回お申し込みされた場合は1名様扱いとなります)